

「スライドを作成しよう」

教科書 P.44～47

導入

これまで調べてきた手洗いの効果について、今回はスライドを使って発表する。スライドで発表する際の流れやルールを確認し、発表の準備を行っていこう。特に初めて「PowerPoint」を使う人は、操作方法で分からないところを先生やクラスメイトに質問して、確認しながら作成しよう。

1. スライドに必要な項目

- 研究の成果を発表に使用するスライドには、次の順番で各項目を入れるのが一般的である。
- (1.

)

：目を引くタイトルというより、発表内容や実験方法が分かる最小限の情報でシンプルなものにまとめる。
- (2.

)

：聞き手が発表内容にスムーズに入れるよう、予備知識を確認する。専門的な知識や用語が出てくる場合は、ここで説明する。インターネットや論文に書かれているすでに知られている内容を、引用して書く。
- (3.

)

：何のために研究を行ったか、など知りたいと思っていることを簡潔に書く。
(今回は全員共通で「感染症予防に効果的な手洗いを明らかにする」とする)
- (4.

)

：目的に対して、今回の研究を行う前に考えられる結果を書く。
- (5.

)

：どのような手順で行ったか、最低限の情報を簡潔に書く。
※ 箇条書きで OK。番号を付けて、文章の場合すべて過去形で記載する。
- (6.

)

：図や表を必ず載せる + 図や表から分かることを文で簡潔に説明する。
- (7.

)

：なぜこの結果になったのか、根拠（結果・文献等）をもとに自身の考えを説明する。
- (8.

)

：今回の研究で分かったことを、簡潔に説明する。
- (9.

)

：発表で使用した図や表が載っている文献や、記載内容を引用したり、参考にした文献すべての情報を書く。自身の研究結果や、いわゆる「知っていて常識」の範囲を超える情報については、全て参考文献を記載しなければならない。

参考文献の書き方

参考文献の書き方は科学雑誌それぞれで決まりがある。今回は一例を紹介する。

《学術雑誌の例》

1. 海山拓, 日本花子, 東京めぐみ, 日本の里山におけるカラスの生態系調査, 日本カラス学会誌, 2018, vol.31, no.5, p.226-235,

著者論文タイトル雑誌名発行年(西暦)巻号ページ

《単行本の例》

2. 山里徹, カラスはなぜ都会に住み着いたのか, ○○出版, 2003, 172p., ISBN4-7571-4301-5,

著者書籍名出版社名発行年(西暦)総ページ数ISBNコード*

※ISBNは, International Standard Book Numberの略。国際標準図書番号のことで, この番号で書籍が特定できる。

《ウェブサイトの例》

3. 山村鳥, “カラスの食餌と睡眠について”, 月星大文学部, 2018-04-18, <http://www.tsukihoshi.ac.jp/……/012123.html>,

著者アクセス日ウェブページタイトルウェブサイト名更新日URL

2. 文献から引用した情報をスライドに載せる方法

スライドに文献から文章を直接引用する場合、以下のようにして引用した部分に分かるようにする。

- ① 引用した文章の最後に番号を付ける。
- ② 参考文献のスライドに、同じ番号で参考文献を書く。

例 ①

これは○○○○○○である [1]

文章を引用したスライド

②

参考文献
[1] 著者～～

参考文献のスライド

3. スライドが見やすくなるコツ・ルール

聞き手に伝わりやすいスライドを作成するには、いくつかのポイントが存在する。守りながら作るようにしよう。

- ・文章は（10.

）

で書いて短く！（文章量をできるだけ減らす）
- ・色は、背景色を含めて（11.

）色まで！（色を使いすぎない）
- ・強調したい文章は、大文字にしたり、（12.

）にしたり、色を付けたりする。
- ・文字のサイズは（13.

）ポイント以上にし、フォントを統一する。
- ・1 スライドに、原則（14.

）行まで！（1 文 3 行以内がオススメ）

※ 改行は単語の途中にならないようにすると見やすい。
- ・グラフには、各軸のタイトル、各軸の値の（15.

）、読み方の説明をつける。
- ・図表には、何を表しているものか伝えるための（16.

）をつける。

※ 図や表にキャプションを入れるときの決まりごと …… 図は下に、表は上に。

例



図 1 タンポポの写真

表 1 タンポポの採取場所と見た目の判別、電気泳動の距離

No	地点	見た目での判別	電気泳動での移動距離
1	尾崎	セイヨウタンポポ	長い
2	須磨	セイヨウタンポポ	長い
3	北海道	セイヨウタンポポ	短い

- ・結果の文章には具体的な数字を加える（例）○は△より“やや大きく”⇒“2 倍大きく“
- ・1 つのスライドにメッセージを詰め込みすぎない。（1 スライド 1 メッセージが理想）

本時の Q&A（本時の内容で疑問に思ったことを書き、その疑問の答えを自分でまとめよう！）
Q（疑問）Teams の「理数実践 No.13_本時の Q&A スライド」で修正した方がいいところは
どこだろう（このプリントの 3. を参考に、できるだけたくさん答えなさい）。

A（答え）

検印